

## 剣道・居合道および杖道教士称号審査会要項

### 1. 受審資格

錬士七段受有者で、七段受有後2年以上を経過（令和6年11月30日以前に取得）した者。

※上記対象者で東京都剣道連盟における級位・段位・称号の審査等に関する規程および実施要領第21条2項（東剣連が認める指導者講習を3回以上（有効期間3年）受講し、かつ加盟団体の認める指導場所等において週1回、1年以上の指導歴を有する者）の資格を有する者。

なお、講習会の有効期間3年は、令和5年7月以降とする。

※錬士取得後続けて教士を申請する場合、講習会は改めて3回受講しなければならない。

※東京都剣道連盟では、上記対象者を称号推薦委員会に諮ったうえ全剣連へ推薦する。

※年齢基準は、審査当日令和8年11月25日とする。

※全剣連社会体育指導員上級取得者は小論文を免除する。

### 2. 申込方法

所定の教士受審申請書と封筒長3に封印した小論文（自筆、パソコン不可）、講習手帳を添え、加盟団体へ申込むこと。加盟団体は、受審希望者の受審申請書および小論文と講習手帳を取りまとめて

**9月3日（木）までに以下に申込むこと。**なお、受審申請書は必要に応じてコピーすること。

〒125-0062 葛飾区青戸2-14-17 足立剣道連盟事務局 飯島辰之

電話：090-8109-1962

郵便振込先 足立区剣道連盟 00110-1-772530

### 3. 審査の方法（全日本剣道連盟による）

課題に対する小論文提出の形式で実施し、小論文を採点のうえ審査会に付議して合否を決定する。

(1)課題 剣道の課題「剣道指導者としてのあり方」、居合道の課題「称号（教士）としての指導への取り組みについて」、杖道の課題「称号（教士）としての指導と今後の杖道普及への具体的な取り組み」

(2)字数 800字以上1,200字以内

(3)用紙 400字詰め原稿用紙（市販のB4縦書き）用紙1～3行目に表題と登録都道府県名である東京都と氏名を記し、4行目2段目より書くこと。必ずボールペンまたは万年筆を使用すること。原稿用紙の右上をホッチキスで止めること。

(4)提出 封筒長3（長さが23.5cm・幅が12cm）の表に「剣道称号教士受審」・「居合道称号教士受審」・「杖道称号教士受審」のうち該当するものを、裏に登録都道府県である東京都と自分の氏名を表記のうえ封印すること。

### 4. 選考料

1人 3,100円（消費税含む）

### 5. 審査料

19,400円

※東京都剣道連盟の称号推薦委員会で受審資格不足とされた者には返金する。

### 6. 合格発表（全日本剣道連盟による）

審査終了後、合格者決定通知と証書が東京都剣道連盟に送付されるほか、後日、全剣連月刊「剣窓」および全剣連ホームページ（<https://www.kendo.or.jp/>）に合格者の氏名が掲載される。

### 7. 個人情報保護法への対応

参加者の個人情報（登録県名、漢字氏名、カナ氏名、生年月日、年齢、称号・段位、職業等）は、全日本剣道連盟および東京都剣道連盟が行事運営のために利用する。なお、登録県名、氏名、年齢等の最小限の個人情報は必要の都度、目的に合わせ公表媒体（掲示用紙、ホームページ、剣窓等）に公表することがある。更に、普及発展のためマスコミ関係者に必要な個人情報を提供することがある。

申請番号

全剣連称号・段位様式第 4 号  
年 月 日

\*都道府県剣道連盟で記入する。  
\*申請番号は若年順に記入する。

1. 剣 道
2. 居合道
3. 杖 道

## 教士 受審申請書（本人用）

※ 試験会場

\*該当するものに○印をする。

※社会体育上級認定者（追認者除く）は  
上記試験会場の記入は不要。

（申請都道府県剣道連盟）一般財団法人 東京都剣道連盟

今般、全日本剣道連盟称号・段級位審査規則[第11条第1項]に基づき、  
道 教士を受審いたしたく下記申請いたします。

記

フリガナ

フリガナ

1 受審者氏名

|      |  |
|------|--|
| フリガナ |  |
|      |  |
|      |  |

(旧姓)

|      |
|------|
| フリガナ |
|      |
|      |

2 生年月日

|   |   |   |   |    |   |   |
|---|---|---|---|----|---|---|
| 年 | 月 | 日 | 生 | 年齢 | 満 | 歳 |
|---|---|---|---|----|---|---|

3 性 別

男 ・ 女

4 取得称号・段位  
取得 年 月  
登録 県 名

|      |     |      |   |
|------|-----|------|---|
| 称 号  | 錬 士 | 段 位  | 段 |
| 年 月  |     | 年 月  |   |
| 登録県名 |     | 登録県名 |   |

顔写真を貼っ  
てから提出し  
てください  
(3 cm × 4 cm)

不 要

5 全剣連番号

6 住 所

|   |
|---|
| 〒 |
|   |
|   |

7 電 話 番 号

|  |      |  |
|--|------|--|
|  | 携帯番号 |  |
|--|------|--|

8 職 業

|    |  |    |  |
|----|--|----|--|
| 現職 |  | 前職 |  |
|----|--|----|--|

※出来るだけ具体的にお書きください。（無職の方は前職を記入）

9 全剣連社会体育  
上級認定年月

|   |   |    |
|---|---|----|
| 年 | 月 | 認定 |
|---|---|----|

※上級認定者のみ記入

[剣 歴]※居合道は居合道歴、杖道は杖道歴を記入する。

|  |
|--|
|  |
|--|

申請番号

全剣連称号・段位様式第 4 号

令和 年 月 日

\*都道府県剣道連盟で記入する。

\*申請番号は若年順に記入する。

## 教士 受審申請書 (本人用)

- ① 剣 道  
2. 居合道  
3. 杖 道

\*該当するものに○印をする。

※ 試験会場

空欄にして下さい

※社会体育上級認定者（追認者除く）は  
上記試験会場の記入は不要。

(申請都道府県剣道連盟) 一般財団法人東京都剣道連盟

今般、全日本剣道連盟称号・段位審査規則【第11条第1項】に基づき、  
道 教士を受審いたしたく下記申請いたします。

記

フリガナ

フリガナ

1 受審者氏名

トウキョウケンイチ  
東京 剣 一

(旧姓)

2 生 年 月 日

50年 3月 24日 生

年齢 満 45 歳

3 性 別

男 ・ 女

4 取得称号・段位

|     |     |     |     |
|-----|-----|-----|-----|
| 称 号 | 錬 士 | 段 位 | 7 段 |
|-----|-----|-----|-----|

取得 年 月

|     |    |     |    |
|-----|----|-----|----|
| 20年 | 5月 | 25年 | 5月 |
|-----|----|-----|----|

登 録 県 名

|      |     |      |     |
|------|-----|------|-----|
| 登録県名 | 東 京 | 登録県名 | 東 京 |
|------|-----|------|-----|

5 全剣連番号

3 5 8 7 4 3 2

6 住 所

〒105-0004  
港区新橋4-24-2

7 電話番号

03-5405-2166

携帯電話

090-0000-0000

8 職 業

現職

会社員

前職

※出来るだけ具体的にお書き下さい。(無職の方は前職を記入)

9 全剣連社会体育  
上級認定年月

平成 29年 8月 認定

※上級認定者のみ記入

[剣 歴] ※居合道は居合道歴、杖道は杖道歴を記入する。

- 東京都剣道大会 2 位  
○ 国民体育大会出場

鍊士小論文 原稿用紙記載での留意事項

① 市販 B 4 縦書き 四〇〇 字詰め原稿用紙使用

② 一、四行目表題と登録都道府県・氏名記入

③ 五行目二段目よりお書きください。

④ 二枚の原稿用紙 右上ホツチキスで止める

⑤ 手書きによる自筆

鉛筆またはシャープペンシル書きは不可

⑥ 左の凡例を参照してください。

[illegible]

## 東剣連が認める講習会

### 剣道

- 1 ブロック講習会（指導法・審判法）
- 2 全剣連社会体育指導員養成講習会（指導法・審判法）
- 3 全剣連女子指導法講習会（指導法）
- 4 全剣連女子審判法講習会（審判法）
- 5 全日本少年少女武道錬成大会審判講習会（審判法）
- 6 女子剣道審判講習会（審判法）
- 7 女子剣道講習会（指導法）

### 居合道

- 1 居合道指導者講習会（指導法・審判法）
- 2 居合道審判実技講習会（指導法・審判法）
- 3 全剣連居合道中央・地区講習会（指導法・審判法）

### 杖道

- 1 杖道指導者・審判講習会（指導法・審判法）
- 2 全剣連杖道中央・地区講習会（指導法・審判法）